

瑞浪市男女共同参画に関する市民意識調査（案）についての意見等に対する回答

※令和4年5月31日開催 第1回瑞浪男女共同参画推進会議 参加者から頂いた意見・感想です。

問	意 見	回 答
Ⅱ 問 3 ⑨	次にあげる事柄について、どう思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。 ⑨自分の娘や身近な女性が科学者や技師、医師など専門性が高い職業を目指すことには、抵抗感がある。	理系＋専門性が高い職業を目指すことについて聞くのなら、そのように示すべき。 専門性のみなら文系の専門職も例に入れるべき。
Ⅱ 問 5 2	男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域での活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。 <u>カテゴリー追加案</u> 2. 休暇を取りやすい環境の整備や休暇制度、 <u>テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること</u>	瑞浪市民を対象に問う場合、このような働き方を享受できる人がどれほどみえるだろうか考えると…時間的な余裕を作る方策については触れない方がよいのではないかと思います。 ⇒休暇を取りやすい環境の整備や休暇制度の <u>充実により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること</u>
Ⅷ 問 2 5	<u>変更案 1</u> あなたは、現在性的少数者（同性愛者、両性愛者やトランスジェンダーなど）がどのような問題に直面していると思いますか。 <u>変更案 2</u> あなたは、性的少数派の方たちが暮らしやすい社会にするためには、どのような意識啓発や支援が必要だと思いますか。	変更案 2の方が良いと思います。変更案 1の方は、選択項目が細かく書かれていますが、それだけにもっと詳しくわからないと回答できないところがあります。例えば、項目 3「病院や福祉施設等での看護や介護における処遇が不適切」とありますが、どのような処遇をされているのか？とか、項目 4「必要とする医療へのアクセスが困難」とありますが、必要の中身が今ひとつわからない。項目 1 2「戸籍上の性別変更のための条件が厳しい」とありますが、どんなに厳しいかわからないし、なぜ厳しくしているのかわからない。
		平成 25 年の内閣府の調査では、「専門分野別に見た大学等の研究者本務者」の男性割合が高い分野が、理学、工学、医学となっているため、例として挙げているものです。 なお、経年比較もしたいので、現行のままとさせていただきます。
		ご意見のとおり変更します。
		変更案 1、変更案 2 とも採用します。 問 2 5 を削除し、問を 2 つ（変更案 1 ＋ 変更案 2）追加します。

X 問 2 8	男女共同参画社会の実現に向け、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。 9. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 10. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直し	項目 10 の後ろに項目 9 をつなげてはどうか？ 関連性の強い内容です。	問 9 と問 10 の順番を入れ替えます。
X 問 3 0	身の周り・地域・しきたりなどで、特に男女の不平等（差別）を感じる ところを具体的にお答えください。 削除検討 問 17 とリンクして回答する ではないか。また、F A が 2 つも 不要ではないか。	問 17 と問 30 の両方を削除するのか？ 問 30 の□の中にある F A とは何か？	※ F A とは、フリーアンサーのことです。 選択肢のない自由意見を記載する設問です。 問 17 は残し、問 30 を削除します。 (F A は 2 つも不要なため)

【調査全般に関して】

意 見	回 答
全体的に、丁寧に回答等が示されていると思いますが、回答者からすると、1つの問いについて10以上の回答案があると、うんざりしてしまうのでは。	幅広い意見を把握するためと、自分の思いに近い回答がないときに記入を辞めてしまわないように、ある程度の回答項目は必要と考えます。
全体として感じることは、アンケート項目についてよく検討され、丁寧に作成されているように感じます。しかし、その一方で、男女共同参画についての意識調査というより、アンケートの回答者（一般市民）に男女共同参画についてアンケートを通して教育しているように感じました。	意識調査ではありますが、アンケートを契機に「男女共同参画社会」の意識も高めていただければ幸いと考えています。